

第 586 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 2026 年 10 月 20 日（火） 13 時 30 分～15 時 15 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 企業会計基準公開草案「継続企業に関する会計基準（案）」等【公表議決】
- (2) のれんの会計処理及び開示に関する検討
- (3) IFRS 財団 公開草案「IFRS 財団『定款』の的を絞った修正案」への対応
- (4) IASB 公開草案「リスク軽減会計 — IFRS 第 9 号及び IFRS 第 7 号の修正案」への対応
- (5) 持分法会計に関するプロジェクトについての IASB へのフォローアップ書簡
- (6) 排出量取引制度に係る会計上の取扱い
- (7) 金融商品の分類及び測定に関する会計基準の開発
- (8) 保険契約全般に関する会計基準のあり方に関する検討

本企業会計基準委員会は、一般の傍聴は Zoom ウェビナーを利用して実施した。

IV. 議事概要

（審議事項）

- (1) 企業会計基準公開草案「継続企業に関する会計基準（案）」等【公表議決】

紙谷副委員長及び飛田専門研究員より、次の企業会計基準公開草案等について説明がなされ、審議及び採決が行われた。採決の結果、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが決議された。

- ① 企業会計基準公開草案「継続企業に関する会計基準（案）」
- ② 企業会計基準適用指針公開草案「継続企業に関する会計基準の適用指針（案）」
- ③ 企業会計基準公開草案（企業会計基準第 41 号の改正案）「後発事象に関する会計基準（案）」
- ④ 企業会計基準適用指針公開草案（企業会計基準適用指針第 35 号の改正案）「後発事象に関する会計基準の適用指針（案）」

- (2) のれんの会計処理及び開示に関する検討

紙谷副委員長及び住田専門研究員より、のれんの償却期間及び償却方法に関する実務上の課題への対応に関して、のれんの減価パターンと償却期間及び償却方法に関する考え方の整理について説明がなされ、審議が行われた。

- (3) IFRS 財団 公開草案「IFRS 財団『定款』の的を絞った修正案」への対応

矢野常勤委員より、IFRS 財団 公開草案「IFRS 財団『定款』の的を絞った修正案」に対する基本的な対応案及びコメント・レターを提出する場合における具体的なコメント案について説明がなされ、審議が行われた。

- (4) IASB 公開草案「リスク軽減会計 — IFRS 第 9 号及び IFRS 第 7 号の修正案」への対応

紙谷副委員長及び伊藤専門研究員より、IASB 公開草案「リスク軽減会計 — IFRS 第 9 号及

び IFRS 第 7 号の修正案」に対するコメント・レターの文案について説明がなされ、第 46 回保険契約専門委員会（2026 年 10 月 13 日開催）及び第 263 回金融商品専門委員会（2026 年 10 月 14 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(5) 持分法会計に関するプロジェクトについての IASB へのフォローアップ書簡

矢野常勤委員より、持分法会計に関するプロジェクトについての国際会計基準審議会 (IASB) へのフォローアップ書簡の提出及び当該書簡の文案について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、IASB に書簡を提出することについて了承を得た。

(6) 排出量取引制度に係る会計上の取扱い

古内副委員長及び松田専門研究員より、次の事項について説明がなされ、第 182 回実務対応専門委員会（2026 年 10 月 15 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- ① 適用時期及び経過措置
- ② 実務対応報告公開草案「GX 推進法に基づく排出量取引制度における制度対象事業者の会計処理及び開示に関する当面の取扱い（案）」の文案

(7) 金融商品の分類及び測定に関する会計基準の開発

紙谷副委員長及び伊藤専門研究員より、債権の事業モデルに関する事例調査の結果を踏まえた追加的な分析及び再提案について説明がなされ、第 46 回保険契約専門委員会（2026 年 10 月 13 日開催）及び第 263 回金融商品専門委員会（2026 年 10 月 14 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(8) 保険契約全般に関する会計基準のあり方に関する検討

紙谷副委員長及び稲田専門研究員より、保険契約全般に関する会計基準のあり方に関する検討を開始することについて説明がなされ、審議が行われた。

以 上